

主な内容

●平成22年度予算と主要事業……2～7 ●平成22年度市の職員体制……8～9 ●全国大会での活躍、十文字中学校開校式、地域づくり協議会始動ほか……10～11 ●行政情報便……12～15 ●地域の話題・ニュース東西南北……16

市民に勇気と感動

雄物川、8年ぶりの春高3位



雄物川高校の戦績

1回戦	2-0	大阪商大高校(大阪)
2回戦	2-0	駿台学園高校(東京)
3回戦	2-0	別府鶴見丘高校(大分)
準々決勝	2-1	都城工業高校 (前回優勝・宮崎)
準決勝	1-3	東洋高校 (東京)=今大会優勝

3月20日から国立代々木競技場第一体育館で行われた第41回全国高校バレーボール選抜優勝大会(通称・春高バレー)で、秋田県代表として出場した雄物川高校が、強豪校

全国高校バレーボール選抜優勝大会2回戦の駿台学園高校戦で、3枚ブロックをものともせずスパイクを決める細川卓弥主将(3月22日、東京・国立代々木競技場第一体育館)【写真提供:トミタ写真工房】

を次々と破って第3位に入賞し、市民に大きな感動を与えてくれました。

16年連続16回目出場の雄物川は、1回戦で大阪商大高校との接戦に勝って勢いに乗ると、2回戦、3回戦をストレート勝ち。準々決勝では前回優勝の都城工業(宮崎)に第1セットを奪われますが、第2セットをジュースの末に奪うと第3セットも連取して準決勝にコマを進めました。

8年ぶりの準決勝では、初の決勝進出をかけて東洋高校(東京)と対戦。2セットを連取されたあと、驚異的な粘りで第3セットを奪い返すと、第4セットも接戦となりましたが、惜しくも25・27で奪われ勝利を逃しました。

敗れたとはいえ、この大会を制した東洋高校を相手に、互角の戦いを見せた雄物川高校。その活躍は、市民をはじめ多くの県民に勇気と元氣をもたらしました。

エースとしてチームを牽引した細川卓弥主将は、大会での活躍が認められ高校選抜チームにメンバー入り。7月の『横手わか杉カップ』をはじめ、今後の雄物川高校の活躍から目が離せなくなりました。

(関連記事 10ページ)

市民1人当たりの予算額
494,515円

人口101,340人(平成22年3月末日・住民基本台帳調べ)で算出



土木費 71,190円
民生費 125,757円



衛生費 48,836円
教育費 54,950円
公債費 70,960円



商工費 18,536円
農林水産業費 30,161円
総務費 42,534円



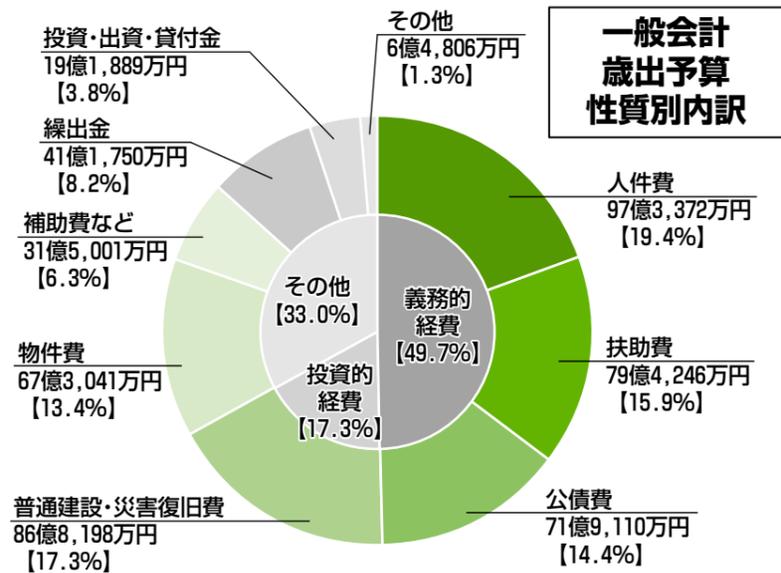
労働費 4,477円
諸支出金 6,985円
消防費 16,808円



災害復旧費 59円
予備費 296円
議会費 2,966円

●用語説明

- 地方交付税：市が自主性を損わず一定の行政水準を保つために必要な経費に対し、国が一定の基準で所要額を算定し、市の税収入を超える額(財源不足額)を基礎として交付されるもの
- 市債：公共施設整備などの事業を行うために国や県、金融機関などから借りるお金(借金)
- 公債費：市債の元金や利子、一時借入金の利子などの返済にあてられる費用
- 扶助費：福祉医療費や児童手当、老人保護措置費など福祉に関する経費
- 物件費：賃金や交際費、委託料、使用料などの消費的な経費



一般会計歳出

総務費	43億1,039万円
民生費	127億4,419万円
衛生費	49億4,903万円
農林水産業費	30億5,654万円
商工費	18億7,839万円
土木費	72億1,437万円
消防費	17億 335万円
教育費	55億6,866万円
公債費	71億9,110万円
議会費ほか	4億9,811万円※3

150億 100億 50億 0

では1・2%増となっています。投資的経費である普通建設事業では、西部地区中学校統合事業やまちづくり交付金事業などの大型事業の実施により、前年度比で50・3%増の86億7,598万円となっています。

また、雇用対策事業として緊急雇用創出臨時対策基金事業などに総額3億6,026万円、経済対策事業として農業経営安定化対策事業などに総額11億5,459万円、地域価値創造事業として食と農からのまちづくり事業などに総額6,691万円を予算化しています。

※「義務的経費」とは、地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費をいいます。

※3議会費ほかの内訳
議会費 3億 57万円
労働費 4億5,370万円
災害復旧費 600万円
諸支出金 7億 784万円
予備費 3,000万円

平成22年度の横手市の予算は、悪化する雇用情勢に対応するため、雇用・経済対策と元気の出る地域づくりを目指し、地域活性化対策に重点を置いて編成しました。

分権型(枠配分型)予算の編成作業により、各部署がそれぞれの責任の中で事業の優先度を見極めながら、行政サービスの確保と喫緊の課題に対応したものととなっています。

新年度の予算のあらましをお知らせします。
◆予算に関する問い合わせ 財務部財政課 ☎35-2167

一般会計歳入歳出
総額 501億1,413万円
前年度当初比 6.0%増

一般会計歳入

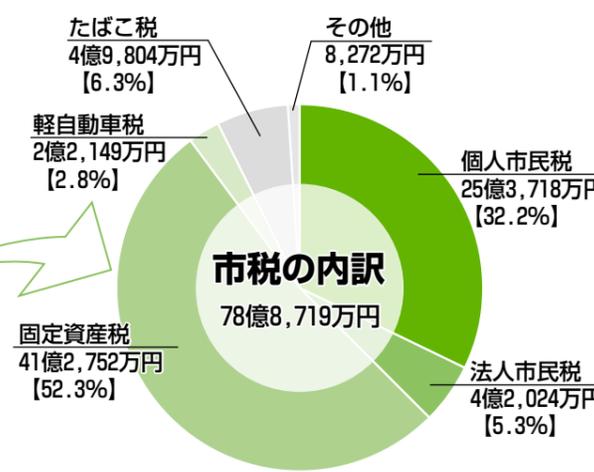
市税	78億8,719万円
使用料および手数料ほか	37億9,018万円※1
国庫支出金	52億7,824万円
県支出金	32億6,022万円
市債	79億7,730万円
その他(交付金など)	16億9,100万円※2
地方交付税	202億3,000万円

【一般会計歳入予算の状況】
義務的経費では、人件費は前年度比で7%減の97億3,372万円、扶助費は子ども手当の支給などにより19・1%増の79億4,246万円、公債費は前年度比10・9%減の71億9,110万円、義務的経費全体

平成22年度予算のあらまし

市の予算総額
904億円

■一般会計 501億1,413万円
■特別会計 275億3,995万円
■企業会計 128億2,216万円



※1使用料および手数料ほかの内訳
分担金および負担金 4億4,984万円
使用料および手数料 6億 92万円
財産収入 1億1,547万円
繰入金 2億2,672万円
繰越金 2億 466万円
諸収入 21億9,257万円

※2その他(交付金など)の内訳
地方譲与税 6億5,000万円
利子割交付金 1,500万円
配当割交付金 100万円
株式等譲渡所得割交付金 100万円
地方消費税交付金 8億0,000万円
ゴルフ場利用税交付金 700万円
自動車取得税交付金 1億2,000万円
地方特例交付金 8,200万円
交通安全対策特別交付金 1,500万円

【一般会計歳入予算の状況】
市税は、景気が回復していない現状から、法人市民税や個人市民税の課税所得の落ち込みを想定し、前年度総額と比べて額で4億7,289万円、率にして5・7%の減となっています。

地方交付税では、普通交付税が国による地域の活性化を回復させるための特別枠「雇用対策・地域資源活用臨時特例費」4億2,000万円を見込み、前年度と比較して、額で10億3,000万円、率にして5・4%増の202億3,000万円となりました。また、地方交付税算定の国税財源不足を振り替える措置として発行される臨時財政対策債は、22・1%増の21億円となっています。

地方債は、横手駅東西自由通路などのまちづくり交付金事業や西部地区中学校統合事業などの合併特例債の伸びにより、前年度と比較して額で24億7,650万円、率にして45%増の79億7,730万円と大幅に増加しています。

平成22年度一般会計および特別会計予算

(単位:千円、%)

会計名	平成22年度当初	平成21年度当初	対前年度比	備考
普通会計	50,519,835	47,844,143	105.6	
①一般会計	50,114,127	47,292,000	106.0	
②障害者支援施設特別会計	264,575	258,127	102.5	大和更生園、ユニー・ホップハウスの運営
③土地区画整理事業特別会計	141,133	294,016	48.0	土地区画の整備
普通会計以外の特別会計(④～⑳)	27,134,239	26,686,312	101.7	
④国民健康保険特別会計	11,955,754	11,712,780	102.1	国民健康保険事業の運営
⑤老人保健特別会計	2,473	25,423	9.7	老人保健事業の運営
⑥後期高齢者医療特別会計	923,978	949,860	97.3	後期高齢者医療事業の運営
⑦介護保険特別会計	8,341,625	7,893,971	105.7	介護保険事業の運営
⑧介護サービス事業特別会計	23,508	23,021	102.1	介護予防の支援・運営
⑨特別養護老人ホーム特別会計	830,992	791,698	105.0	特別養護老人ホームの管理運営
⑩介護老人保健施設特別会計	476,232	460,681	103.4	老健おおもりの運営
⑪指定通所介護事業特別会計	74,631	76,802	97.2	森の家(大森地区)の運営
⑫市営温泉施設特別会計	743,642	778,231	95.6	直営温泉施設の運営
⑬下水道事業特別会計	3,019,071	3,459,661	87.3	下水道の整備、管理運営
⑭集落排水事業特別会計	654,931	427,366	153.2	下水道の整備、管理運営
⑮浄化槽市町村整備推進事業特別会計	68,180	66,312	102.8	市設置型浄化槽の整備、管理運営
⑯横手町四町財産区特別会計	1,662	1,354	122.7	
⑰横手地域財産管理特別会計	25	25	100.0	
⑱前郷地区特別会計	3,144	3,199	98.3	
⑲西成瀬財産区特別会計	5,116	12,375	41.3	
⑳醍醐財産区特別会計	865	713	121.3	
㉑里見財産区特別会計	6,500	1,300	500.0	
㉒福地財産区特別会計	360	240	150.0	
㉓館合財産区特別会計	1,550	1,300	119.2	
特別会計(②～⑳)	27,539,947	27,238,455	101.1	
企業会計(㉔～㉕)	12,822,166	13,864,407	92.5	
㉔病院事業会計	9,390,303	10,441,248	89.9	
㉕水道事業会計	3,431,863	3,423,159	100.3	横手病院、大森病院の管理運営
合計(①～㉕)	90,476,240	88,394,862	102.4	水道の整備、管理運営

【基金の推移】

区分	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度		
	残高	残高	残高	残高(見込み)	取崩予定額	積立予定額	年度末残高(見込み)
財政調整基金	40億2,984万円	31億 404万円	28億5,254万円	35億4,727万円	1億4,583万円	1,012万円	34億1,156万円
減債基金	5,742万円	6,535万円	6,560万円	7,021万円		21万円	7,042万円
その他の基金	28億 454万円	30億6,031万円	31億5,255万円	18億3,770万円	4億 657万円		22億4,427万円
合計	68億9,180万円	62億2,970万円	60億7,069万円	54億5,518万円	1億4,583万円	4億1,690万円	57億2,625万円

※「減債基金」とは、将来の借金の返済に役立てるための貯金

【借金の推移】

区分	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末見込み	平成22年度末見込み
市債残高(普通会計ベース)	637億2,737万円	621億7,709万円	576億3,742万円	582億 769万円	600億 345万円

平成22年度の主な事業

豊かな自然 豊かな心 夢あふれる田園都市

【生活環境】

人にやさしく 住みよいまちづくり

- 塵芥(ごみ)処理 6億8146万円
- し尿処理 2億3748万円
- 廃棄物処理統合施設整備事業 1532万円
- 雪対策 8億5126万円
- 道路新設改良 6億9184万円
- 条里跡般若寺線、杉沢安本線、平野沢線、新平川北1号線など18路線を整備します。
- 横手駅前活性化対策事業 7億2643万円
- JR横手駅前周辺活性化のため市街地再開発事業を行います。
- 公園整備事業 9000万円
- 赤坂総合運動公園、真人公園、梨木公園、聖安公園の整備を行います。

【安全生活】

安心で 住みよいまちづくり

- 住宅リフォーム補助事業 8000万円
- 住宅の修繕、補修および増築工事の費用の一部を助成します。
- 住宅用太陽光発電普及促進事業 3000万円
- 太陽光発電システム設置工事の一部を助成します。
- 常備消防費 13億7517万円
- 消防車両、救急指令センターの運営などに必要な経費です。
- 非常備消防費 1億6289万円
- 地域を守る消防団活動の経費です。
- 消防施設整備事業 1億3267万円
- 防火水槽の設置や地域に整備する小型消防ポンプ、消防格納庫の整備など地域の防災基盤整備に必要な経費です。

【健康福祉】

やさしさあふれ 元気なまちづくり

- 生活バス路線運行費補助事業 8628万円
- 生活バス路線の運行維持に必要な経費の一部をバス事業者へ補助します。
- 代替運行事業 1520万円
- 廃止バス路線のうち地域の交通網として必要な路線について、市が代替運行を行います。
- 住宅・建築物安全ストック形成事業(新規) 120万円
- 住宅の耐震診断、耐震改修の費用の一部を助成します。
- 高齢者福祉事業 7億2909万円
- 配食サービス事業、高齢者入浴サービス事業、雪下ろし雪よせ支援、はり・きゅう・マッサージ助成事業など高齢者のための福祉事業を展開します。

- 障害者自立支援給付 12億 512万円
- 障がい者の施設入所などの介護給付や、就労支援のための訓練給付を行います。
- 児童福祉事業 52億 856万円
- 子ども手当・育児手当・出産祝金等の支給、公立保育所や私立保育所の運営費、学童保育、一時保育、延長保育など子育て世帯の支援を実施します。また、保育所や学童保育など児童福祉施設の充実を図ります。
- 一般扶助費 11億1640万円
- 生活保護者への一般扶助費経費です。扶助費には、生活・住宅・教育・医療・介護・出産扶助などがあります。
- 健康増進事業 2億 155万円
- 健康診断、がん検診、心の健康づくり事業などを行い、健康増進のための事業を展開します。
- 母子保健事業 7857万円
- 乳幼児健診や妊産婦検診を実施します。
- 健康の駅推進事業 2249万円
- 市民の健康増進活動の拠点となる、市内3カ所の健康の駅事業費です。
- 一般不妊治療費助成事業(新規) 303万円
- 一般不妊治療にかかる費用の助成を行い、夫婦の経済的・精神的な負担の軽減を図ります。

(次のページにつづきます)

雇用・経済・地域価値創造対策の重点事業

(主な内容)

※主要事業との重複あり

【Ⅰ 雇用対策事業】

- 緊急雇用創出臨時対策基金事業 1億1,790万円
介護雇用プログラム(ヘルパー2級コース)、横手やきそばによる観光振興事業など全19事業で雇用機会の創出を図ります。
- ふるさと雇用創出臨時対策基金事業 1億 221万円
大学連携による教育資源活用事業、「歳のある町」増田観光拠点機能強化事業など全8事業で雇用機会の創出を図ります。
- 新規高卒者緊急就職支援事業 2,285万円
- 緊急雇用安定助成事業 7,000万円
- 新規雇用奨励助成金 1,000万円
- 新規就農者支援事業 2,880万円
- 新規就農者レベルアップ事業 350万円
- 高齢者福祉施設介護業務就労サポート事業 500万円

【Ⅱ 経済対策事業】

- 住宅リフォーム事業 8,000万円
- 住宅用太陽光発電普及促進事業 3,000万円
- ものづくり創造支援事業 1,020万円
- 魅力あるお店づくり支援事業 542万円
- 横手市元気回復プラン事業 300万円
- 水田利活用緊急支援対策事業 4,040万円
- 中小企業融資あっせん資金預託 7億0,000万円
- 中小企業融資あっせん資金保証料給付金 8,158万円
- 中小企業融資あっせん資金利子補給金 5,400万円
- 農業経営安定化対策事業 1億5,000万円

【Ⅲ 地域価値創造事業】

- 食のまちづくり事業 1,443万円
- 横手の魅力発信事業 249万円
- 地元食材活用事業 325万円
- 特産品開発支援事業 600万円
- よこて「食のアカデミー」推進事業 491万円
- 通年観光推進事業 680万円
- 海外誘客事業 230万円
- 「みんなが主役のまちづくり」支援事業 440万円
- 東北B-1グランプリ 400万円
- 合併5周年記念農業祭事業 300万円
- 大産業祭2010支援事業 300万円
- 農工商連携調査事業 300万円
- 大学連携事業 300万円
- まんが美術館オープン15周年記念事業 174万円
- スポーツのまちづくり事業 100万円

“地域づくり予算”のあらまし

特色ある地域づくりに 総額1億8,047万円

- 元気の出る地域づくり事業 1億4,660万円
- 地域づくり協議会活動事業 513万円
- 地区会議支援事業 2,874万円

元気の出る地域づくり事業 地域ごとの事業および事業費

地域	事業内容	事業費
横手地域局	後三年の合戦(役)の史跡まちづくり事業、よこての線香花火事業、花の町づくり事業、側溝改良工事など34事業	2,223.3万円
増田地域局	建造物修復補助、まんが美術館特別展、増田の花火補助、古写真史料調査事業、観光拠点施設導入路整備など22事業	1,773.3万円
平鹿地域局	けやき並木イルミネーション事業、地区交流事業、あやめ公園再生事業、白藤清水自然公園整備事業、安全・安心推進事業など14事業	1,793.3万円
雄物川地域局	中央公園・木戸五郎兵衛村賑わいづくり事業、歴史探訪散策コースづくり事業、道路改良事業など9事業	1,863.3万円
大森地域局	芝桜フェスタ開催事業、大森中学生海外研修事業、元気の出る健康まつりIN大森開催事業、道路改良事業、こどもの広場遊具修繕など15事業	1,973.3万円
十文字地域局	地域活性化イベント支援事業、高齢者生きがいづくり事業、道路舗装事業、側溝改修事業、駅周辺整備事業など18事業	1,481.0万円
山内地域局	山菜王国づくり事業、芝桜再生事業、御嶽山周辺探訪事業、防犯等安心対策事業など20事業	1,728.3万円
大雄地域局	美しい地域づくり事業、生きがいとうるおいのある地域づくり事業、生活道路安全対策事業、公園施設整備事業、駐車場整備事業など29事業	1,698.3万円
地域づくり支援課	地域づくり活動支援事業(地域づくり協議会委員研修費など)	125.9万円

【産業振興】

豊かな自然と調和した
活力あふれるまちづくり



- 強い農業、づくり交付金事業 979.5万円
営農組合等への施設整備費の助成を行います。
- 農業夢プラン応援事業 1億 187万円
- 中山間地域振興対策費 716.5万円
- 「食と農からのまちづくり」事業 346.0万円
地場農産物を介したまちづくりを推進します。
- 農地・水・環境保全向上対策(営農活動支援事業) 122.5万円
- 農業経営安定化対策事業 1億500.0万円
農家等への低融資制度を実施します。
- 新規就農者支援事業 288.0万円
新規就農希望者が技術習得のため農業生産法人などで研修を受けた場合に補助をして、担い手不足の解消や新規就農者の掘り起こしを行います。
- 新規就農者レベルアップ事業 350万円
【新規】
地域農業の担い手対策として新規就農者のさらなるレベルアップを図ります。
- 水田利活用緊急支援対策事業 404.0万円
【新規】
国の助成水準が大幅に低下する大豆、麦、そば、野菜等の作付けに対して、激減緩和措置として市単独の助成を行います。
- 農地費(基盤整備関連) 13億579.9万円
圃場・農道・用排水整備などの基盤整備や、農地・水・農村環境保全向上活動支援事業などの農村環境事業を行います。
- 林業振興費 2億369.5万円
林道整備事業、造林事業など林業振興のための事業を展開します。
- 緊急雇用対策事業費 3億279.6万円
厳しい雇用情勢により失業を余儀なくされた方への雇用機会の創出を図ります。
- ものづくり創造支援事業 102.0万円
横手発の新事業、新技術、新製品の創出を支援します。
- 金融対策費(中小企業への融資あっせん) 8億560.1万円
- 自動車産業強化事業 494.4万円
- 東北B-1グランプリ 400万円
【新規】
- 魅力あるお店づくり支援事業 542.2万円

【教育文化】

みんなで学び
うるおいのあるまちづくり



- スクールバス購入事業 546.9万円
- 緊急教育資金貸付事業 300万円
- 西部地区中学校統合事業 13億342.4万円
雄物川・大森・大雄の西部3地区中学校を統合する横手明峰中学校の建設事業。
- 横手地区中学校統合事業 7億143.9万円
横手地区の通学区が隣接する3中学校を統合するための土地造成設計、校舎設計および用地取得を行います。
- 市内本調査費事業 130.6万円
県営基盤整備事業を行う宮田地区で、埋蔵文化財の記録保存を目的とした発掘調査を行います。
- 給食費保護者負担軽減対策 270.6万円
物価高騰により平成21年度から学校給食費を1食あたり20円の引き上げを行いましたが、雇用情勢等が依然として厳しい
- 行政経営品質向上プログラム推進事業 193万円
行政運営から行政経営へ転換し、市民にとって本当に必要なサービスを提供できる組織としての基盤をつくります。
- 「みんなが主役のまちづくり」支援事業 440万円
市民の主体性に基づくまちづくり活動へ補助を行います。
- 元気の出る地域づくり事業 1億466.0万円
各地域の特性を生かした活性化を図るため、地域の特徴ある事業を行います。
- 地域づくり協議会活動事業 51.3万円
【新規】
今年度設置される地域づくり協議会の活動および運営にかかる経費です。
- 地区会議支援事業 287.4万円
各地域の特色ある地域づくり、市民自らの地域づくりを実践します。

【住民参加交流】

あなたの知恵・
あなたが主役のまちづくり



ことから、引き続き、引き上げ相当分を市が負担します。

地域自治区の終了と喫緊の行政課題に対応

市では、地域自治区の設置期間が終了したことにともない、新たな地域づくりの取り組みが始まることから、4月1日付けで組織・機構の見直しと人事異動を行いました。主な組織・機構の見直し内容と平成22年度の職員体制をお知らせします。

組織・機構の見直し 地域自治区の設置期間終了 にもなう対応

地域局
地域振興課、市民福祉課、産業建設課の3課（横手地域局は市民課、福祉課の4課）に改め、業務分担を一部変更しました。地域局長に次長級を配置し、地域住民が相談しやすい体制への配慮から、各課長には地元出身職員を配置しました。

◆地域づくり支援課

地域づくりをバックアップするため、総務企画部に地域づくり支援課を新設しました。

◆産業基盤整備への対応

市の基幹産業である農業の活性化のため、農政課を農政企画や担い手育成を担当する農業政策課と、農畜産物全般の生産振興を担当する農業振興課の2課体制とし、経済効果を生み出す観光物産行政の強化を目指し、観光物産課の職員を増員しました。

◆総務企画部

市役所全体の危機管理体制の確立のため、危機管理室を新設。併せて、消防広域化などの課題に対処するため、危機管理室職員を消防本部総務

市職員の体制

課併任としました。職員の資質向上の取り組みを強化するため、総務課を総務課と人事課に分離し、総務課と選挙管理委員会事務局職員を併任としました。駅前公共施設の開設準備のため駅前公共施設準備室を新設しました。

市の職員体制

課長級以上の職員を紹介します。

- 総務企画部**
 - 佐藤 良吉 部長兼危機管理室長
 - 小丹 茂樹 次長兼人事課長
 - 佐藤 亮 市長公室長
 - 高橋 征徳 総務課長、選挙管理委員会事務局長併任
 - 高橋 賢一 経営企画課長
 - 高橋 嘉 地域づくり支援課長兼男女共同参画・市民協働推進室長
 - 藤井 靖己 情報政策課長
- 財務部**
 - 柴田 恒宏 部長
 - 小川 良平 次長兼納税課長
 - 三浦 淳 財政課長
 - 山中 長悦 管財課長
 - 佐藤 栄一 契約検査課長
 - 森谷 富男 契約検査課専門監

- 長谷山達夫 市民税課長
- 宮川 秀雄 資産税課長
- 福祉環境部**
 - 森屋 輝夫 部長
 - 石山 清和 福祉事務所長
 - 米山 隆 次長兼子育て支援課長
 - 菊地 晴男 次長兼環境課長
 - 高村 明 国保市民課長
 - 半田 正平 東部環境保全センター所長
 - 菊地 弘志 西部環境保全センター所長
 - 伊藤 卓雄 南部環境保全センター所長
 - 斎藤 正弘 横手衛生センター所長
 - 飯野由貴男 雄物川衛生センター所長
 - 照井 寛 保健衛生課長
 - 石田 操 保健衛生課栄養士主幹
 - 長井 健 健康の駅推進室長
 - 丹尾 弘悦 社会福祉課長
 - 金田 紳一 障害者環境保全衛生福祉推進課長兼障害者支援課長兼障害者相談センター所長
 - 栗田 公平 子育て支援課上席主幹
 - 皆川 規和 高齢ふれあい課長
 - 佐野 司 地域包括支援センター所長
 - 半田 輝一 高齢老人ホームひらひら施設長
 - 高橋 克文 特別養護老人ホームひらひら施設長
 - 高橋 俊一 介護老人保健施設老健おかもり事務長

- 産業経済部**
 - 藤井 孝芳 部長兼企業誘致室長兼農業振興課長
 - 佐々木 隆 次長兼マーケティング推進課長
 - 高山 勇光 農業政策課長
 - 深澤 登 農業政策課主幹
 - 関口 悦雄 農業振興課長
 - 佐藤 誠悦 農林整備課長
 - 小田嶋利宏 商歩働課長兼企業誘致室主幹
 - 小松田文夫 観光物産課長
 - 加藤 正一 実験農場場長
- 建設部**
 - 照井 康晴 部長

- 遠藤 久志 次長兼道路河川課長
- 渡部 幸伸 建設監理課長
- 佐藤 耕 建設監理課専門監
- 佐越 和之 都市計画課長
- 小原 信美 都市整備課長
- 日野 充 建築住宅課長
- 高橋 宏司 建築住宅課専門監

- 上下水道部**
 - 柏加屋健市 部長
 - 鈴木 弘志 次長兼水道総務課長
 - 向川 善雄 次長兼下水道整備課長
 - 武藤 常夫 水道総務課主幹
 - 阿部 一美 水道配水課長
 - 見田貞一郎 下水道管理課長
 - 佐藤 芳美 下水道維持課長
 - 藤井 嘉博 下水道維持課主幹
- 会計課**
 - 太田 照敏 会計管理者兼会計課長
- 議事事務局**
 - 浮嶋 伸 議事事務局次長
 - 柴田 健悦 議事事務局次長
- 監査委員事務局**
 - 内藤 稔 監査委員事務局局長
- 農業委員会事務局**
 - 須藤 茂美 農業委員会事務局局長
- 教育委員会事務局**
 - 築山 富 部長
 - 高橋 実 次長兼教育総務課長
 - 小西 一夫 学校統合推進課長
 - 高橋 功 生涯学習課長兼文化財保護課長
 - 小西 稔 横手生涯学習センター所長
 - 松浦 利明 増田生涯学習センター所長
 - 柴田 清隆 平鹿生涯学習センター所長
 - 菊池 由孝 雄物川生涯学習センター所長
 - 加藤 敬雄 大森生涯学習センター所長

- 小川 孝行 十文字生涯学習センター所長
- 佐藤 富子 山内生涯学習センター所長
- 藤谷 正人 大森生涯学習センター所長
- 大和 敏憲 中央図書館館長
- 教育指導部**
 - 永沢 弘 部長兼インターハイ準備室長
 - 佐々木孝雄 教育指導課長兼教育センター所長
 - 佐藤 均 学校教育課長兼雄物川・大森学校給食センター所長
 - 奥山 幸彦 横手・平鹿・十文字・山内学校給食センター所長
 - 佐藤 修 スポーツ振興課長兼インターハイ準備室主幹
- 地域局**
 - 横手地域局**
 - 石山 昭一 局長
 - 武田 浩一 地域振興課長
 - 松井 新悦 市民課長
 - 高橋 幸一 福祉課長
 - 願法 廣典 保健センター所長
 - 加藤 一 産業建設課長
 - 増田地域局**
 - 千田 幸咲 局長
 - 阿部 仁 地域振興課長
 - 佐藤 長慶 市民福祉課長兼総合子育て支援施設施設長
 - 高崎 朋子 ますだ保育園園長
 - 遠藤 晴美 産業建設課長
 - 平鹿地域局**
 - 眞田 正照 局長
 - 佐藤 誠 地域振興課長
 - 佐々木雅子 とせめき交流センターゆづる主幹
 - 佐藤 郁雄 市民福祉課長
 - 藤原 佳宣 産業建設課長
 - 雄物川地域局**
 - 柴田 清治 局長
 - 福岡 新作 地域振興課長
 - 秋島 祐子 地域振興課主幹
 - 柴田 立子 市民福祉課長
 - 杉山 哲 産業建設課長

- 大森地域局**
 - 太田 和昭 局長
 - 菊地 均 地域振興課長
 - 伊藤 隆 地域振興課上席主幹
 - 伊藤由美子 市民福祉課長
 - 佐藤 新一 産業建設課長
- 十文字地域局**
 - 鈴木 淳悦 局長
 - 澁谷 満 地域振興課長
 - 藤原 廣三 市民福祉課長兼子育て支援センター所長
 - 矢野 博子 十文字保育所所長
 - 瀧澤 寛宜 産業建設課長
- 山内地域局**
 - 藤田 茂 局長
 - 照井 礼司 地域振興課長
 - 得平イエ子 市民福祉課長兼子育て支援センター所長
 - 由利 浪子 さんない保育園園長
 - 加賀谷秀昭 産業建設課長
 - 阿野 広美 産業建設課主幹
- 天雄地域局**
 - 鈴木 康和 局長
 - 小松田博之 地域振興課長
 - 栗林 千春 市民福祉課長兼子育て支援センター所長
 - 信太 裕子 たいゆう保育園園長
 - 鈴木 長悦 産業建設課長
- 消防本部 消防署**
 - 川村 東吉 消防長
 - 泉田 榮次 消防本部次長
 - 澤谷 敬 消防本部総務課長、総務企画部危機管理室主幹併任
 - 小野 松治 消防本部予防課長
 - 藤原 正美 消防本部警防課長
 - 伊藤 弘明 消防本部救急課長
 - 佐藤 晋作 消防署署長
 - 高橋 俊美 消防署副署長
 - 田口 信夫 消防署副署長

市立病院

- 長山正四郎 病院事業管理者
- 市立横手病院**
 - 丹羽 誠 院長
 - 吉岡 浩 副院長
 - 船岡 正人 副院長
 - 藤盛 修成 副院長
 - 江畑公仁男 副院長
 - 小松 明 診療部長
 - 畑澤 淳一 診療部長
 - 佐藤 正弘 事務局長兼総務課長
 - 浮嶋 優子 事務局長医事課長
 - 小田嶋尚人 診療科リハビリテーション科診療部長
 - 藤原 理吉 診療放射線科技師長
 - 石田 良樹 薬剤科長
 - 木村カズ子 看護科総務課長
 - 佐藤セツ子 看護科副総務課長
 - 高橋千鶴子 看護科2病棟看護師長
 - 木村真貴子 看護科3A病棟看護師長
 - 木下 文子 看護科3B病棟看護師長
 - 藤井 洋子 看護科4病棟看護師長
 - 高本 和子 看護科手術室看護師長
 - 木村恵美子 看護科外来看護師長
 - 佐藤恵美子 臨床検査科技師長
 - 原田 優子 食養科技師長
- 市立大森病院**
 - 小野 剛 院長
 - 大場 雅史 副院長
 - 三浦 勉 副院長
 - 福岡 岳美 副院長
 - 澤邊 淳 副院長
 - 遠藤まゆみ 看護科総務課長心得
 - 佐藤 恵子 看護科副総務課長心得
 - 森田 泰博 事務局長兼医事課長
 - 金澤 和彦 事務局総務課長

新規採用職員

- ◆齊藤真紀子／福祉環境部社会福祉課主事
- ◆吉田威史／福祉環境部高齢ふれあい課主事
- ◆池田佑介／産業経済部農業振興課主事
- ◆最上さつき／産業経済部観光物産課主事
- ◆鈴木 悠／横手地域局市民課主事
- ◆小松利恵子／横手地域局福祉課主事
- ◆松井寛幹／横手生涯学習センター主事
- ◆佐々木 孝雄／教育指導部教育指導課長（県教育委員会より派遣）
- ◆鎌田誠／教育指導部教育指導課主査（県教育委員会より派遣）
- ◆柴田茂明／教育指導部教育指導課主査（県教育委員会より派遣）
- 消防本部 消防署**
 - ◆眞田綾／消防本部主事
 - ◆小田嶋貴大／消防署主事
 - ◆土田拓実／増田分署主事
 - ◆小西雄弥／平鹿分署主事
 - ◆高谷亮平／雄物川分署主事
 - ◆高橋昌大／大森大雄分署主事
 - ◆佐藤康太／十文字分署主事

嘱任職員

- ◆高橋晋／教育指導部教育指導課長
- ◆板井互／教育指導部教育指導課主査
- ◆長崎晋／教育指導部教育指導課主査

雄物川高校バレー部・植田ミニバススポ少

全国大会3位を市長に報告

4月2日、ともに全国大会で第3位の好成績を取めた、雄物川高校男子バレーボール部と植田女子ミニバスケットボールスポーツ少年団が市役所南庁舎を訪れ、五十嵐市長に大会の報告をしました。

◆雄物川高校バレーボール部
今大会を機に、監督を退いた宇佐美義和校長が「組み合わせを見て、期待感を持っていた。選手たちが厳しい練習を耐え抜いた結果であり、市民を挙げての応援にも感謝したい」と報告。五十嵐市長は「3位という結果には嬉しさとともに、惜しい」との思いもあった。これからもわくわくするような試合を見せてほしい」と激励しました。(同校の戦績等は、1ページに掲載)



雄物川高校男子バレーボール部
第41回全国高校バレーボール選抜優勝大会 第3位

◆植田ミニバスケットボールスポーツ少年団
今月、中学生になったばかりの前6年生団員10人と伊藤総一監督などが訪問。高橋ひかる主将が「代々木のコートは広くてとても緊張したが、最後まで植田らしいバスケッ

トができてよかった」と話し、スピードが信条の自分たちに胸を張りました。五十嵐市長は「本当に素晴らしい成績。県代表として地域の応援に十分応える活躍だった」と選手たちを讃えました。

植田スポ少は、持ち前のスピードを活かし、京都府と熊本県の代表と対戦した予選の2試合に連勝して、4ブロックで行われる準決勝に進出。昭和ミニバスケットボールクラブ(愛知)との対戦は、前半で16点差の大量リードを奪われますが、後半盛り返してほぼ互角の試合を展開。結果は39・58で敗れましたが、最後まであきらめず走り続けるプレーを見せてくれました。

前6年生の10人は、4月5日に新生・十文字中学校に入学。そこにはかつて植田スポ少と一緒に汗を流した先輩たちもたくさんいます。これまでに培った技術と精神力を活かし、新たな一歩を踏み出すみなさんのさらなる飛躍が期待されます。



植田女子ミニバスケットボールスポーツ少年団
第41回全国ミニバスケットボール大会 第3位

市民が主役のまちづくりへ入り

『地域づくり協議会』が発足・始動

合併にともなう地域自治区と区長制度が平成21年度末で終了したことから、新たな地域自治の仕組みを作り上げるため、今年度から『地域づくり協議会』が発足します。

地域づくり協議会は、地域の声を市政に反映させ、市民が主役となって地域づくりを取り組むための組織。旧自治体を単位とする8地域ごとに、その地域に暮らす住民で構成

あいさつしました。4月中旬には、すべての地域で協議会が立ち上げられ、新たなまちづくりの取り組みがスタートします。



市長が一人ひとりに委嘱状を交付

地域づくり協議会の概要

地域名	開催日	委員数
横手	4月5日	18人
大雄	4月7日	13人
雄物川	4月8日	18人
平鹿	4月12日	18人
大森	4月13日	15人
山内	4月14日	15人
十文字	4月19日	15人
増田	4月20日	15人

3商工会が合併し、新たな船出

よこて市商工会が開所式

4月1日、市内の平鹿中央商工会・増田十文字商工会・雄物川商工会が合併して『よこて市商工会』が誕生し、本所となる旧増田十文字商工会本部(十文字町字海道下)で開所式が開かれました。

会長には遠藤芳徳氏(前平鹿中央商工会長)が、副会長には飯塚征夫氏(前増田十文字商工会長)と小笠原恒男氏



開所を祝い関係者がテープカット

（前雄物川町商工会長）がそれぞれ就任。本所に掲げられた看板の除幕を行いました。県平鹿地域振興局の青木満局長から合併許可書を受け取った遠藤会長は、テープカットの後「地域と企業の活力をあげるため、行動・提案・奉仕する商工会を目指し、下からの目線で実績をひとつひとつ積み上げていきたい」とあい

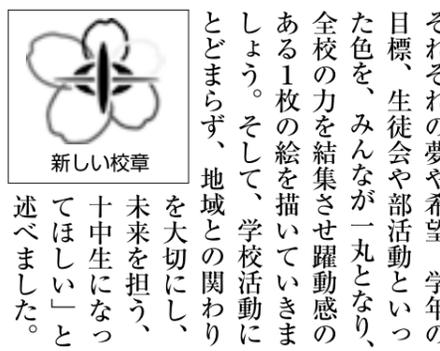
伝統を引き継ぎ、新たな一歩

新生・十文字中学校で開校式典

4月5日、新生・十文字中学校の開校式典が同校体育館で行われ、在校生や保護者などおよそ330人が出席しました。

はじめに、五十嵐市長が「学校生活を通して、自分らしさを磨き、自ら考え行動できる人になってください」とあいさつ。続いて、十文字の『十』と中学校の『中』を圖案化した、背景には地域特産のさくらんぼの花を配置した校章が描かれた校旗が、市長から木村芳孝校長へ手渡されました。

木村校長は「十文字中学校という真っ白なキャンパスに、それぞれの夢や希望、学年の目標、生徒会や部活動といった色を、みんなが一丸となり、全校の力を結集させ躍動感のある1枚の絵を描いていきましょう。そして、学校活動にとどまらず、地域との関わりを大切にし、未来を担う、十中生になってほしい」と述べました。



4月6日には入学式が行われ、新入生129人を含む全校生徒371人で、新たな歴史と伝統を刻む、第一歩を踏み出しました。



生徒を代表して誓いのことばを述べる小松沙希さん

市民歌の歌詞は安倍幸一さんの作品に決定

12月から1月にかけて、新しい横手市民歌の歌詞を募集したところ、全国41都道府県から230作品の応募がありました。横手市民歌制定検討委員会(森田博委員長)で慎重に審査し、最終選考に残った3作品から安倍幸一さん(十文字・60歳)の作品を採用することに決定しました。

安倍さんの作品は、検討委員会から「春夏秋冬が織り込まれている」「短い構成で安定感があり、親しみやすい」などの評価を受けました。今後、専門家に作曲を依頼し、今秋の市制施行5周年記念式典で発表する予定。作曲する際に補作の可能性があるため、歌詞は曲の発表と同時にいきます。たくさんのご応募、ありがとうございます。

平鹿図書館に国会図書館長から御礼状

このほど、国立国会図書館が行うレファレンス協同データベース事業の活用と事例紹介に積極的に取り組んだとして、平鹿図書館に国会図書館長の御礼状が贈られました。

レファレンスサービスは、図書館利用者に対して資料や文献、情報などを検索するなどの調べもののお手伝いをするサービスです。図書館の貸し出しと、図書館新館で開催されたフォーラムに参加。今回の取り組みを全国に向けて発表しました。



利用者の調べもののお手伝いをするレファレンスサービス

子育て支援のための計画が策定されました

◆横手市次世代育成支援地域後期行動計画

市では、3月に次世代育成支援地域後期行動計画「夢は大きくむゆきんこプラン」を策定しました。

これは、子どもの権利が尊重され、未来に夢を描くことのできる社会の実現を目指すための子育て支援計画。子どもたちや子育てをしている人が、何を必要として、どのような支援を求めているかを真剣に考え、市が目標とする少子化対策の方向性と具体的な施策を定めました。

後期計画（平成22～26年度）では、前期計画後の社会状況の変化を考慮しながら、子どもたちや保護者が地域で育ち、育てられるまちづくりを目指して、次のような取り組みを推進していくこととしています。

- ① 保育サービスや経済的支援などの子育てを支援する仕組みづくり
- ② 母子の健康を守り子どもたちが健やかに心身ともに育つ元気づくり
- ③ 次代を担う子どもたちを育む人づくり
- ④ 安心して子育てできる環境づくり
- ⑤ 仕事と家庭生活が両立できる

社会づくり

多くの人が子育ての喜びを実感でき、横手市で子どもを育てたいと思える地域を目指し、この行動計画に基づき子育て環境の充実を図ってまいります。

◆横手市保育所整備計画

市では、平成20年度から横手市保育所整備計画の策定に取り組み、3月にその作業を終えました。

この計画は、次世代育成支援地域行動計画で目指す保育サービスの充実や安心安全な保育環境の整備はもろろんのこと、横手市総合計画や行政改革大綱などに盛り込まれている保育所の統廃合などを踏まえて検討されたものです。少子化や財政状況を考慮しながら、次世代を担う子どもたちを健全に育むことのできる保育環境を整備するための具体的な計画をとりまとめた内容となっています。



これらの計画は、市ホームページから見る事ができます。インターネット等が見られない方は子育て支援課までご連絡ください。
◆問合せ 市福祉環境部子育て支援課（大森庁舎内） ☎35-2133

税金

申込みはお早めに！
軽自動車税の減免申請

精神や身体に障がいを持ち、歩行が困難な方が所有する軽自動車は、軽自動車税の減免制度の対象となります。身体障害者手帳等（規定等級以上）の交付を受けている方は、必要書類をお持ちになり、申請手続きを行ってください。ただし、自動車税と軽自動車税の減免は両方受けることはできません。どちらか1台だけとなります。

◆減免を受けることのできる軽自動車

- ①所有者/身体障がい者本人の場合（18歳未満の方は生計を一にする家族）

運転者	使用目的
身体障がい者本人	日常生活全般
身体障がい者と生計を一にする方	身体障がい者の通学・通院・通所等
身体障がい者を常時介護する方	障がい者のみで構成される世帯に属する身体障がい者の通学・通院・通所など

- ②所有者/精神障がい者、または生計を一にする家族（知的障がい者も含む）

精神障がい者等と生計を一にする方	精神障がい者の通学・通院・通所等
精神障がい者を常時介護する方	障がい者のみで構成される世帯に属する精神障害者の通学・通院・通所など

- ◆必要書類 ①印鑑、②運転免許証（運転者のもの）
③身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳
④自動車検査証、⑤減免申請書

◆申込期限 5月24日(月)※期限を過ぎると減免を受けることができませんので、ご注意ください。

◆問合せ 市財務部市民税課 ☎32-2510、または各地域局地域振興課へ

教育委員会短信 3月
●問合せ 教育総務課 ☎22-2151

■3月定例教育委員会の審議内容（3月29日）

- ◎横手市社会教育委員の委嘱、横手市生涯学習奨励員の委嘱、横手市体育指導委員の委嘱、横手市図書館協議会委員の任命を承認
*任期満了に伴い委嘱、任命するものです。
- ◎横手市農山村体験学習交流施設『釣りキチ三平の里体験学習館』管理運営規則の制定を承認
*当該体験学習館の設置に伴い、管理運営規則を新たに定めるものです。
- ◎横手市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則を承認
*市立図書館統合図書館情報システム導入に伴い、運用の変更および字句等の整理のため現行規則の一部を改正するものです。
- ◎横手市例規の整備に伴う関係規則の整理に関する規則の制定を承認
*統一した表記に修正するため現行規則の一部を改正するものです。

※詳細は市のホームページに掲載しています。

【訂正】

市報よこて4月1日号の記載に、追加事項がありましたので、下記のように訂正します。
●10ページ左『国民健康保険税が軽減されます』の記事中、対象者の「②雇い止めなどで離職した方の離職理由:23,24」に「33」が追加されました。

募集

～雪国の暮らしを考えてみませんか～
市民委員を募集します

全国有数の豪雪地帯である横手市では『雪となかよく暮らす条例』を制定しています。この条例は、市民一人ひとりが雪との共生・共存を考え、市と市民、事業所が力を合わせて快適で魅力ある雪国をつくることを目的としています。条例の実現に向けて、雪国の暮らしを見つめ直し、雪との付き合い方を一緒に考えてくれる市民委員を募集します。

- ◆応募資格 ・雪に強いまちづくりや雪に親しむ暮らしづくりの推進に関心を持ち、当条例の趣旨に賛同できる方
・市内在住の20歳以上の方
・市民委員会に参加できる方

- ◆募集人数 おおむね20人程度
◆活動内容 委員会(会議)への参加 ※年3回程度
◆応募方法 任意の用紙に①氏名、②住所、③生年月日、④電話番号、⑤応募動機を記入し、持参・郵送・ファクス・メールのいずれかにより応募してください。なお、持参の場合は経営企画課または各地域局地域振興課へお持ちください。

◆募集期限 4月30日(金) 必着
◆申込み・問合せ 〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号
横手市役所 総務企画部経営企画課企画調整担当 ☎35-2164、☎33-6061、✉kikaku@city.yokote.lg.jp

募集

理想の行政経営を目指して
「横手市行財政改革推進委員」を募集します

横手市行財政改革推進委員会は、公正で透明性の高い行政の推進および新たな行政システムの確立に向けて、市民の皆さんの広範な意見を反映させるために設置しています。今回、現委員の任期満了に伴い、新しく委員を募集します。未来の横手市のために、あなたの力をお貸しください。

- ◆応募資格 市内在住の20歳以上の方
◆募集人数 若干名
◆任期 2年間(平成24年まで)
◆会議予定 年3回程度(通常、平日の夜開催)
◆応募方法 任意の用紙に①氏名、②性別、③年齢、④住所、⑤電話番号、⑥職業、⑦略歴、⑧応募動機(市の行財政改革への意見など400字程度)を記入し、持参・郵送・ファクス・メールのいずれかにより応募してください。なお、持参の場合は経営企画課または各地域局地域振興課へお持ちください。

◆募集期限 4月30日(金) 必着
◆申込み・問合せ 〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号
横手市役所 総務企画部経営企画課経営政策担当 ☎35-2164、☎33-6061、✉kikaku@city.yokote.lg.jp

補助金

～平成22年度分の受付を開始しました～
住宅用太陽光発電システム補助金

今年度も、住宅用太陽光発電システムの設置費用を補助します。なお、交付条件等を変更しましたので、申請の際は注意してください。主な内容は以下のとおりです。



◆補助対象者 次の要件のすべてを満たす人

- ①横手市に住所を有しているか、または事業が完了する年度内に転入予定であること
- ②自ら居住し、または居住を予定している、市内にある住宅（店舗・事務所等との兼用の場合は、延べ床面積の2分の1以上が住宅用であるものを含む）に対象システムを設置する人
- ③本人および同一世帯に属する者に、市税の滞納がないこと

◆対象システム 次の要件をすべて満たすもの

- ①システムを構成する太陽電池の最大出力の合計値が10kW未満の太陽光発電システムであること
- ②未使用品であること
- ③太陽光普及拡大センター(J-PEC)による技術仕様書に適合するもの
- ④電力会社と電灯契約および余剰電力の売電契約を締結すること

◆補助金額

- *1kW当たり5万円とし、対象システムを構成する太陽電池の最大出力を乗じて得た額とする（ただし、1,000円未満は切捨て）
- *補助額の上限は25万円とする

◆補助実施期間

平成22年4月1日～平成23年3月31日
※期間最終日までに実施報告書を提出できること

◆新たな交付条件

- 次のいずれかの者と工事請負契約等を締結し、設置するシステムであること
- (1)市内に事業所(本店、支店等)を有する法人
- (2)市内に事業所を有する個人事業主であって、本市に住民登録をしている者
- (3)その他、市長が必要と認めるもの
新築の場合：市外の住宅建築業者等と契約を締結する場合
既築の場合：新築時におけるメーカー保証等との関係で、その住宅を建築した業者以外の業者による取り付けが困難と認められる場合

◆申込み・問合せ

〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号
横手市役所 総務企画部経営企画課経営政策担当 ☎35-2164、☎33-6061
※申請書類は最寄りの地域局地域振興課、市ホームページにも掲載しています

地域包括支援センターがお手伝いします！

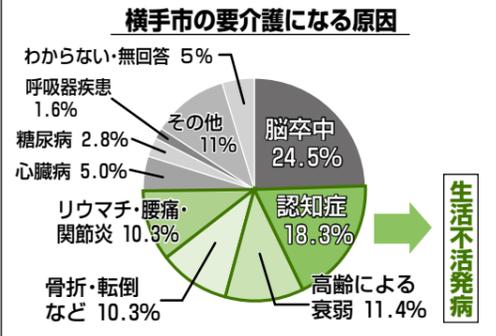


この笑顔をいつまでも(さわやかアップ教室のみなさん)

元気なうちから介護予防

いつまでも
生き活きと
過ごすために地域包括支援
センターだより

今の元気をいつまでも



高齢社会の中で、生涯元気に生活するためには、介護が必要になる前の「介護予防」が大切です。

横手市の要介護になる原因を詳しく見ると、認知症をはじめ高齢による衰弱や骨折・転倒、リウマチ・腰痛・関節炎など、いわゆる「生活不活発病」がおおよそ半分を占めています。これは、高齢にともなう不活発な生活によって、生活機能が低下するために起きてくるものです。

また、日常生活の中で老化によるさまざまなサインがあったにもかかわらず、介護予防

介護予防普及の4つの柱

1. まずはみんなが健康であること
2. 声をかけあって各種行事に参加すること
3. お互いさまの気持ちで批判せず、むしろ来てくれたことに感謝しあうこと
4. みんなで支えあうことに「いきがい」を感じられること

～平成21年度介護予防普及講座のまとめから～



心身の機能を維持し、少しでも長く思いどおりの生活を送るために、まずは今の自分の状態を知ることが大切です。要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方は特定健康診査にあわせて、生活機能評価を受けることができますので、ぜひ健診を受けましょう。

防に取り組まないまま過ごすことで、生活機能の低下や寝たきりなどの状態になる例も少なくありません。

そこで、市では「元気なうちから介護予防」を合い言葉に、昨年度から市民の皆さんを対象とした講座を開講するなど、介護予防の普及に取り組んでいます。その中には、今ある元気な生活を保ち、できるだけ介護が必要な状態にならないようにするために、左の4つを柱として取り組みを進めています。

まずは健診で、生活機能評価を受けましょう

高齢者の健康づくりは、生活習慣病の予防とともに、今ある心身の機能をできるだけ落とさないことが重要になってきます。そのために行うのが「生活機能評価」です。

生活機能評価では、健診の際に『基本チェックリスト』を含む生活機能チェックを実施し、今後介護や支援が必要になる可能性の高い方には、機能の低下を防ぐための介護予防プログラムなどの実施により支援を行います。

何でもご相談ください

あなたのまちの地域包括支援センター

高齢者に関することなら、介護や健康、福祉などどのような相談もお受けし、必要な窓口に取り次ぎます。「どこに相談するのかわからない」という悩みでも構いません。

また、高齢者福祉サービスの申請手続きなどもお手伝いしますので、お気軽にご連絡ください。

お住まいの地域	担当の地域包括支援センター
横手地域 山内地域	東部地域包括支援センター ひまわり社内(横山町) ☎35-2160 ☎35-6374
雄物川地域 大森地域 大雄地域	西部地域包括支援センター 大森町高齢者等保健福祉センター内(大森町菅生田) ☎35-2135 ☎56-4026
増田地域 平鹿地域 十文字地域	南部地域包括支援センター 市役所十文字西出張所内(十文字町植田) ☎35-2177 ☎44-5243

募集

市民の皆さんから意見を募集します！

『横手市防犯まちづくり行動計画』に対する意見を募集します

市では、一人ひとりが安全に、安心して住めるまちを目指して「横手市防犯まちづくり行動計画」を策定しています。この計画は平成19年4月に施行された横手市生活安全安心条例の目的「市民が安全に安心して生活できる地域社会の実現を図るため、関係機関や団体と市が連携・協働して取り組むべき施策をまとめたものです。この計画がより良いものになるよう、皆さんから広く計画案への意見を募集します。



◆公示場所 各地域局地域振興課窓口、または市ホームページ(<http://www.city.yokote.lg.jp/>)

◆提出方法 計画案公示場所から所定の様式を入手し、必要事項を記入したうえで、持参・郵送・ファクス・メールなどで提出してください。

◆募集期間 4月15日(木)～4月28日(水)【必着】

◆申込み・問合せ
〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号
横手市役所 総務企画部総務課総務担当
☎35-2161、☎33-6061、✉somu@city.yokote.lg.jp

下水道

7月から 下水道使用料金が変わります

下水道使用料金および集落排水施設使用料金が、7月使用分(8月検針分)から変更になります。

●使用料の改定

現在の下水道使用料と集落排水施設使用料は、地区ごとに異なった料金体系になっており、同じ汚水処理の施設使用料でありながら負担の公平性に欠けていました。そのため、今年から2段階で使用料の改定を行い、平成24年に全市統一を図ります。

●使用料を統一する理由

各家庭や事業所から下水道に流れ込んだ汚水は、下水道管を通して下水道処理場に流れ込み、きれいな水に戻して河川に放流しています。そのためには、下水道管の補修や下水処理場の維持管理費が必要になります。この維持管理費は、下水道施設を利用している方からの収入でまかなわなければなりません。現在の料金体系では収入が不足し、市の税金で補っている状況です。そこで、使用料を統一し、維持管理費を利用者からの収入でまかない、さらに借入返済金の一部に充てるための改定を行います。

◆新下水道使用料(月額/消費税込み)

※月額使用料の計算値から1円未満の端数切り捨て

使用区分	使用水量	金額
基本使用料	0～5 m ³	735.00円
	6～10m ³	147.00円
従量使用料 (1m ³ あたり)	11～20m ³	156.45円
	21～30m ³	165.90円
	31～40m ³	175.35円
	41～50m ³	184.80円
	51～100m ³	194.25円
	101m ³ ～	203.70円

◆改定の概要

- ①1回目の変更は平成22年7月から、2回目の変更は平成24年7月から行います。
- ②使用料の計算方法
1回目/現行使用料と新下水道使用料の差額を2分の1にして計算
2回目/新下水道使用料で計算
- ③老人1人世帯などの少量利用者へ配慮し、基本水量を5m³に引き下げ

■使用料の改定のQ&A

- Q1. 一番低い地区の料金に統一できなかったの？
- A1. 仮に一番低い地区の使用料に統一した場合、市の税金からの繰出金を大幅に増やさなければ、経営が成り立ちません。近年、厳しい財政事情が続いていますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◆新旧使用料の比較例(消費税込み)

※1カ月に25m³使用した場合の月額使用料※25m³は市内4人家族の平均使用水量

使用月	横手	増田	平鹿	雄物川	大森	十文字	山内	大雄
現行	3,228円	4,672円	4,147円	3,622円	2,861円	3,622円	3,570円	3,990円
1回目変更(H22.07～)	3,546円	4,268円	4,005円	3,743円	3,363円	3,743円	3,717円	3,927円
2回目変更(H24.07～)	3,864円							

◆問合せ 市上下水道部下水道管理課(山内庁舎内)☎35-2174



情報 information

お知らせ 緑の募金運動にご協力を
今年度も「緑の募金運動」を実施しています。みなさまからの募金が地域の緑化推進につながりますので、ご協力をお願いします。

期間 4月10日(土)～5月31日(月)

目標額 1人100円

問合せ 市産業経済部農林整備課 ☎45・5511

催し 横手まちなかウォーキング
ウォーキングで健康づくりや仲間づくりをしましょう。

日時 4月から12月までの毎月第4土曜日(12月は18日)、午前9時～

集合場所 かまくら館サンルーム

問合せ 横手保健センター ☎33・9600

お知らせ ホームヘルパー2級資格取得受講料の一部を助成
対象/現在離職中かつ求職中の市内在住者で、平成23年3月末まで資格を取得できる方

手続 各地域局市民福祉課(福祉課)備え付けの申請書を窓口にて提出してください。

問合せ 市福祉環境部社会福祉課 ☎35・2132

催し 市内を巡る「半日観光」に参加してみませんか
日時/4月27日(火)午前8時45分～

集合場所 市役所南庁舎向い防雪センター前駐車場

コース 旭・栄コース(薬師堂清水、生の森三十三観音、正伝寺、大屋の梅、切支丹塚など)

定員 先着20人(参加無料)

申込み 市産業経済部観光物産課 ☎33・7111

お知らせ 三枚橋地区土地区画整理事業計画書縦覧中
変更した三枚橋地区土地区画整理事業の事業計画書を縦覧できます。

場所 建設部都市整備課(十文字庁舎2階)

時間 午前8時30分～午後5時15分

問合せ 市建設部都市整備課 ☎42・5120

講 横手市雇用創出協議会
座 セミナーのご案内
「フードコーディネーター3級入門講座」

日時 4月28日(水)午後6時30分～9時

場所 横手市民会館

申込み 横手市雇用創出協議会事務局(市商工労働課内) ☎45・3990

お知らせ 市立横手病院新館完成
見学会を開催します
日時/4月29日(木)午前10時～午後2時

※車で来院の方は、病院東側の第2・第3駐車場をご利用ください。

問合せ 市立横手病院総務課 ☎32・5001

講 カラダのコリをほぐしま
座 腰痛予防、肩こり解消にヨガや軽運動でリフレッシュしましょう。

日時 5月20日～6月10日の毎週木曜日(全4回)、午後7時～8時30分

場所 横手中央公民館

定員 市内成人男女15人

受付開始 4月19日(月)午前9時～(定員になりしだい締め切ります)

申込み 横手中央公民館 ☎32・3137、33・3995

お知らせ よこて発酵文化研究所
講演会および総会
日時/4月26日(月)午後3時～

【よこての発酵文化を語る】谷金彌氏(よこて発酵文化研究所所長)

※引き続き、午後4時から総会を行います。

場所 かまくら館(入場無料)

【会員募集】
地域の伝統、文化、技術である「発酵」をキーワードとしたまちづくりを目指す「よこて発酵文化研究所」の会員を募集しています。

条件 研究所の目的に賛同する市内在住の方

年会費 1,000円

問合せ よこて発酵文化研究所事務局(市マーケティング推進課内) ☎45・5537

お知らせ 秋田県合同就職面接会
日時/5月6日(木)午後0時30分～4時30分 ※受付は午前11時30分～

場所 秋田ビューホテル

対象 平成23年3月に大学・短大・高専・専修学校等を卒業予定の学生(一部の企業では既卒者も可)

問合せ 県産業経済労働部雇用労働政策課 ☎018・860・2335

講 大曲技術専門学校
座 スキルアップセミナー
お勤めされている方を対象とした講習会です。

第二種電気工事士筆記試験準備講習 5月11日(火)・12日(水)・18日(火)・19日(水)、定員20人

マシニングセンター(加工作業)講習 5月12日(水)・13日(木)、定員5人(新人対象)

申込み 大曲技術専門学校 ☎0187・62・6321

サインを求め、長蛇の列

きくち正太原画展『百花繚乱』(増田)
増田まんが美術館で1月30日から4月4日まで、県人漫画家特別企画展の第3弾として大森町出身の漫画家・きくち正太氏の原画展『百花繚乱』が開催されました。デビュー作の『獣王バイオ』から、一昨年にドラマ化された代表作の『おせん』など全作品の貴重な原画300点以上を展示。華やかな色使いと“和”の要素を取り入れた艶やかな原画が、来場者の目を魅せました。

3月28日にはサイン会が行われ、会場は県内外から訪れた大勢のファンでにぎわっていました。



オリジナル色紙にサインをするきくち正太氏とファンのみなさん

地域の伝統品でウエディングドレス

十文字和紙作品展(十文字)
3月24日から31日まで、十文字和紙を継承する佐々木清男さんがすいた和紙を、主婦の泉川祐子さんが作品にした『十文字和紙作品展』がコミュニティハウスね・ま〜れで開催されました。照明器具や同ハウスで手芸教室を開いている大橋壽子さんの協力を得て完成した、ウエディングドレス2着など約60点を展示。和紙の柔らかな雰囲気を活かした作品が、来場者を魅了しました。

作品展終了後もウエディングドレスは、同ハウスに展示されていますので、ぜひご覧ください。



十文字和紙を使用したウエディングドレスや照明器具など

遡上を願い、各地で計3万匹を放流

横手川にサケの稚魚放流(横手・山内)
4月3日、山内南郷地区で横手・横手南・横手東の3ロータリークラブがサケの稚魚2万匹を放流しました。

参加者の中には、まだまだ小さい稚魚を心配そうに見つめながら「元気に帰ってきてね」と優しく声をかける姿も見られました。

また4日にも『黒川にさけを呼ぶ会』が横手西中学校裏の川立ちの里に1万匹の稚魚を放流。稚魚は雪解けの冷たい水の中を元気でね(黒川) 元気いっぱい旅立って行きました。



約60人の参加者が一斉に稚魚を放流(山内旧南郷小付近)

やきそば暖簾会から市に寄付金



3月30日、横手やきそば暖簾会(伊藤一男理事長)の役員が市役所南庁舎を訪れ、イベントへの出店や横手やきそば風味のスナック菓子などで得た収益金から、30万円を市に寄付しました。昨秋のB-1グランプリ優勝で全国的な人気の中、伊藤理事長は「味を落とさずがんばりたい」とさらなる飛躍を誓っていました。

交通遺児のために横手運送が寄付



3月23日、横手運送(塩田謙三社長・右)が来年で設立60周年を迎えることを記念し、塩田交通遺児愛護会(佐々木勇一会長・左)に500万円を寄付しました。同会は、横手運送前会長の塩田儀三郎氏からの寄付金を基に平成2年に設立。交通事故で親を亡くした子どもの保護者に見舞金や激励金などを支給しています。

診療所

【増田地域】
増田町診療所(耳鼻咽喉科)
 診療日 4月21・28日(水)
 診療時間 14:00~15:30

【雄物川地域】
えがいの丘診療所
 診療日 4月21・28日(水)
 診療時間 14:30~15:30

大沢診療所
 診療日 4月26日(月)
 診療時間 13:30~14:30

休館日

お出かけ前にご確認ください

横手図書館 4月21・28日、5月5・6日	大雄図書館 4月15・18・19・22・26・29日、 5月3~6日
増田図書館 4月19・26日、5月6日	雄物川資料館 4月19・26・30日
平鹿図書館 4月20・27日、5月4・6日	ゆっぴる 4月21日
雄物川図書館 4月21・28日、5月5・6日	ゆとり館 4月20・27日
大森図書館 4月20・27日、5月4・6日	えがいの丘 4月19・26日
十文字図書館 4月21・28日、5月5・6日	三吉山荘 4月20・27日
山内図書館 4月17・18・24・25・29日、 5月1~5日	大森健康温泉 4月19・26日
	ゆとりおん大雄 4月15日
	南部シルバーエリア 4月19・26日
	健康の駅トレーニングセンター 東部 4月21・28・29日、5月3~5日
	西部・南部 4月17・18・24・25・28・29日、 5月1~5日
	子どもと老人のふれあいセンター 4月19・26日

【休日救急当番医が変更になります】

これまでの休日救急当番医は横手市内の診療所で実施していましたが、4月29日から第1・第3・第5日曜日は市立横手病院救急外来にて診療を行うこととなります(第2・第4日曜日は従来どおり)。なお、ゴールデンウィークと年末年始は市立大森病院での実施となりますので、事前にご確認ください。

※今号から【休日救急当番医】と【日曜夜間小児救急外来】は裏表紙の「暮らしのカレンダー」に掲載しています。



歌の好きな人集まれ ~思いっきり歌声喫茶~

●日時/5月6日(木)午後7時開演 ●場所/煉瓦屋(寿町) ●参加費/1,000円(軽食付) ●予定曲/緑のそよ風など20曲以上 ●問合せ/煉瓦屋 ☎33-2811

トレ・コンアモーレ『母の日コンサート』

ふだん言葉にできない「お母さん、ありがとう」の一言を音楽にのせて伝えるコンサートです。
 ●日時/5月9日(日)午後1時開場、1時30分開演 ●場所/横手市民会館 ●入場料/前売券(ペア券3,000円、トリプル券4,000円)、当日券(1枚2,000円) ●問合せ/荻田さん ☎32-9438

手作り雑貨マーケット参加者募集

一緒に布小物などの手作り品の販売をしませんか?
 ●日時/6月13日(日) ●場所/かまくら館 ●出店料/1,200円 ●ブース/会議用テーブル2台分(応募者が多数の場合は抽選) ●問合せ/小松さん ☎090-7666-6001

楽しく学ぶ!中級英会話

外国人講師によるフリートーキングです。(初回無料)
 ●日時/毎月第1・2・3火曜日、午後7時~9時 ●場所/男女共同参画センター ●問合せ/備前さん ☎36-2621

よこてお城山クラフトフェア出展者募集

10月2・3日に開催予定の『よこてお城山クラフトフェア』で陶芸や木工、編み物などの手作り品を展示・販売して下さる方を募集します。(募集要項はHP参照)
 ●募集人数/50人(団体も可)※応募者多数の場合は書類選考 ●応募期限/5月31日(月) ●問合せ/よこてお城山クラフトフェア実行委員会 ☎33-3845

Yokotter Project(ヨコッタープロジェクト)実行委員会

今、話題のTwitter(ツイッター)を始めてみませんか?登録の仕方から無料で説明します。初心者大歓迎!
 ●日時/5月14日(金)・6月11日(金)、午後7時~8時30分 ●場所/ホテルプラザアネックス横手 ●問合せ/高橋さん ☎32-7777(ゆうゆうプラザ内)

ヨコッタープロジェクト開発『横手箸巻き(通称:よこまき)』懐かしの横手の味「箸巻き」と横手やきそばがドッキング。5月2~4日、秋田ふるさと村で販売します。

献血日程

4月18日(日)		
横手	よねやハッピータウン (ふれあい献血キャンペーン)	10:00~16:00 全血
4月19日(月)		
十文字	マックスバリュ十文字南店	10:00~12:00
	幸福会館	13:30~15:00
	八萩工業団地 (株つるや田部井製作所)	15:30~16:00
4月21日(水)		
山内	山内公民館	10:00~12:00
	鶴寿苑	13:00~13:45
平鹿	みちのくココロラボトリング(株)	14:00~15:00
	(株)モートアピリエ	15:45~16:30

い どばたプラザ

idobata plaza

「いどばたプラザ」は、市民団体やNPOなどからのお知らせを掲載するコーナーです。掲載を希望する場合は、発行日の15日前までに内容がわかるものを寄せてください。なお、内容や情報量などによって、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

ね・ま〜れ『鈴木信子ハンドメイドの洋服と小物展』
 ●日時/4月15日(木)~19日(月)、午前10時~午後4時
 ●場所/ね・ま〜れ(十文字駅前通り) ●入場料/無料
 ●問合せ/ね・ま〜れ ☎42-5320

第67回全県将棋大会横手地区予選
 ●日時/4月18日(日)午前9時30分受付、10時対局開始
 ●場所/あさくら館 ●会費/1,500円(昼食付) ●問合せ/中田さん ☎32-2479

第21回 岡本っこ舞踊大会(入場無料)
 ●日時/4月18日(日)午後1時~ ●場所/かまくら館
 ●問合せ/横手岡本っこ舞踊委員会 ☎32-3086

子育て中のママと子ども対象のイラスト教室
 ●日時/4月23日(金)午後3時~5時 ●場所/金沢公民館
 ●参加費/大人300円、子ども100円 ●問合せ/金沢公民館 ☎37-2111

とっぴんばらりのプー 第104回昔語りの会
 ●日時/4月24日(土)午後1時30分~ ●場所/こうじ庵(鍛冶町) ●問合せ/尾形さん ☎32-0630

横手YOSAKOIキッズ練習見学会(無料)
 ●日時/4月24日~5月29日の土曜日(5月1日を除く)、午前10時~11時30分 ●場所/あさくら館(15日はふるさと館) ●問合せ/事務局菊地さん ☎35-4422

木の実とリボンのアート〈デコスパイス〉春の講座
 ●期日/4月27日(火)・5月14日(金)の全2回 ●午前の部/午前10時~11時30分 ●午後の部/午後6時30分~8時 ●場所/サンサン横手 ●参加費/2,500円 ●定員/5人 ●申込期限/4月20日(火) ●申込み/アトリエ・オリーブ菅原さん ☎090-7793-3007

横手EM環境フレンド推進会 クリーンアップ活動
 横手記念公園のクリーンアップを行います。
 ●日時/5月2日(日)、午前10時~11時 ●集合場所/横手市民会館前 ●問合せ/日高さん ☎32-9560

نانの館 月例市民将棋大会
 ●日時/5月2日(日)午前10時~ ●場所/軽食喫茶ナンの館(十文字町梨木バイパス通り) ●参加費/1,000円(軽食付) ●問合せ/佐藤さん ☎090-3365-2720

5月連休中の『し尿収集日』のお知らせ
 衛生センターの休業日は、し尿収集も休みになりますのでご協力をお願いします。
 ■営業日程
 5月1日(土)~5日(水) 休業
 6日(木)以降 営業
 ■問合せ/横手衛生センター ☎32-1974
 雄物川衛生センター ☎22-5346

暮らしのカレンダー

4/15 ▶ 5/5

4/15 木	社協横手福祉センター(四日町)
16 金	十文字町幸福会館
17 土	
18 日	急 聖愛内科胃腸科クリニック(十文字) ☎42-2233 児 平鹿総合病院(岡田医師) ☎32-5124
19 月	行 雄物川保健センター ☎10:00~12:00 法 増田地区多目的研修センター ▶10:00~12:00、社協増田福祉センター ☎45-4848
20 火	社協山内福祉センター(ゆうらく館)
21 水	法 市役所南庁舎 ▶13:00~15:00、市総務課 ☎35-2161 心 社協平鹿福祉センター(ゆとり館)
22 木	野村克也氏講演会『野村再生工場』 ▶19:00~、入場料2千円、横手市民会館 ☎32-3136 心 増田地区多目的研修センター 行 横手地域局1階総合案内 ▶13:00~15:00
23 金	法 社協山内福祉センター(ゆうらく館) ▶10:00~12:00、社協山内福祉センター ☎53-3009 心 社協大雄福祉センター
24 土	公開講演会『平鹿・仙北における伊勢商人の系譜』 ▶15:00~、市役所南庁舎、秋田大学横手分校 ☎38-8304(要申込) 道の駅さんない 10周年記念祭  ウォーキングデー ▶9:00~、かまくら館サンルーム集合
25 日	急 雄物川クリニック ☎22-5511 児 平鹿総合病院(石橋医師) ☎32-5124
26 月	
27 火	心 大森コミュニティセンター
28 水	心 雄物川コミュニティセンター
29 木	名物たらいこぎ競争 ▶10:00~、真人公園沼、増田町観光協会 ☎45-5311 第2回『十文字さくら音楽祭』▶13:00~、十文字文化センター 急 市立大森病院 ☎26-2141
5/30 金	
1 土	沼入りぼんでん ▶11:00~、巖島神社(平鹿町醍醐荒処)、 平鹿地域局産業建設課 ☎24-1118
2 日	2010秋田スカイフェスタ ▶6:00~、~4日、市教育センター広場(旧蛭野小グラウンド)、☎080-3335-5370・5371 大森リゾート村芝桜フェスタ ▶~23日 児 平鹿総合病院(岡田医師) ☎32-5124
3 月	
4 火	
5 水	

◆5月2日~5日の休日救急当番医

急 市立大森病院 ☎26-2141

- 【無料相談】 行…行政 税務(10:00~12:00/13:00~15:00)
 法…法律(要予約) 心…心配ごと(9:30~12:00)
- 【医療】 急…休日救急当番医(9:00~12:00)
 児…日曜夜間小児救急外来(受付18:00~21:00)

【社会保険年金相談】 横手地域局1階相談窓口 ☎32-2111(内線8529)
 ・毎週月曜~木曜 10:00~12:00/13:00~15:00

桜名所のさくらまつり



■4月中旬~

【横手公園・金沢公園】

◆期間/4月17日(土)~29日(木)

◆問合せ/横手商工会議所 ☎32-1170



横手城から夜景を眺めてみませんか?

展望台を夜間も開館します

◆日時/4月23日は19:00
 まで、24日は19:30
 まで開館

◆入館料/高校生以上100円

◆問合せ/横手公園展望台
 ☎32-1096

【真人公園】

◆期間/4月15日(木)~30日(金)

◆問合せ/増田町観光協会 ☎45-5311

【大森公園】

◆期間/4月17日(土)~5月1日(土)

◆問合せ/大森町観光協会 ☎26-2117

道の駅さんない 10周年記念祭



■4月24日(土)・25日(日)



平成12年にオープンした道の駅さんないが10周年記念祭を開催します。『ウッディ木の香まつり2010』も同時開催し、楽しい企画が盛りだくさん。みなさんでお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

◆時間/10:00~15:00

◆場所/道の駅さんない

◆内容/恋し浜ホタテ焼き、つるつる流しそば、大抽選会、祝い餅つき、お菓子まき(25日)、そば打ちアマチュア選手権(25日)など

◆問合せ/道の駅さんない ☎56-1600

無料映画会 ~ 南部シルバーエリア(大森町)

親子でどうぞ

◆上映時間/午後1時~ ◆問合せ/☎26-3880

4月18日(日)「ワンピース エピソード オブ アラバスタ 砂漠の女王と海賊たち」【90分】

25日(日)「くまのプーさん ルーの楽しい春の日」【63分】

5月3日(月)「ポケットモンスター/ダイヤモンドパール & パールギラティナと氷空の花束シェイミ」【100分】

横手市の人口

総数 101,340人(-357) / 34,084世帯(+34)
 (男 48,162人(-178))
 (女 53,178人(-179))

※3月末現在(前月末比)